

「第3回経営戦略塾」への講師派遣（愛知県豊田市）

～地方分権改革の経緯と提案募集方式の取組について～

【開催日】 平成29年3月14日(火)【講義】

【場 所】 豊田市役所 東庁舎大会議室1・2

【講 師】 内閣府地方分権改革推進室
参事官 五味 裕一、調査員 猪阪 昇治(京都府から派遣)

【参加者】 豊田市職員 109名 愛知県職員 1名

【概 要】

○今回の研修は、100名を超える各事業担当課の若手職員が参加し、熱心に講義を聞いていただいた。職員の真剣なまなざしが印象的であった。

○研修では、地方分権改革のこれまでの意義と経緯について説明した後、提案募集方式の制度概要、事前相談から提案実現に至るまでの手続、地域の課題・支障事例を把握する手法等の提案検討のポイントについて、「地方分権改革・提案募集方式ハンドブック」を使用しながら、具体的な説明を行った。

○受講者アンケートでは、「地方の思いが実現する点や地方の職員が自ら考えられるようになる点で、とても良い仕組みだと思う。」「既存の業務について、常に疑問を持つこと、あきらめずに調べること、他市の状況を把握すること等の心構えが地方分権改革の推進に繋がると感じた。」等の感想が寄せられた。

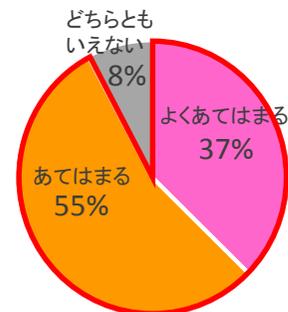
○また、本講義後に、実際に提案募集方式に基づく提案をして実現した経験を有する職員(財産管理課 岩下主査)の発表があった。提案の検討に当たっては、日頃感じている「不満」をぶつけたらいいという指摘や、経費削減効果が明確に示されていた点は、とても分かりやすかった。



受講者アンケート結果

問: 研修プログラム全体に満足した

⇒満足度 92%



問: 本研修を職場同僚に勧めたい

⇒お勧め度 84%

